

農村ツーリズム展開方針

令和 5 年 (2023 年) 6 月 29 日
宗谷総合振興局

1 地域の現状

宗谷管内は、宗谷海峡を隔てロシア連邦サハリン州を望む国境の地域であり、広大な土地を背景にした草地型酪農や日本海とオホーツク海の海域の特性を活かした漁業を基幹産業とし、利尻島や礼文島、雄大なサロベツ原野などの魅力ある観光資源や風力をはじめとする自然エネルギーの宝庫という強みを有している。

一方で、人口減少が進んでおり、地域の経済や暮らしなど様々な分野での影響が懸念されていることを踏まえ、一次産業の担い手の確保・育成や道内外の若者の移住・定住の取組を推進するとともに、地域資源を活かした観光振興や新エネルギーの導入・普及を促進することにより交流人口の拡大や雇用の創出を図っている。

2 地域の抱える課題

農林水産業における就業者等の減少・高齢化により、地域産業を担う人材確保が課題となっており、女性や高齢者の活動促進を含めた担い手の育成・確保や、営農支援組織の一層の推進が必要となっている。

観光業では夏期（6～9月）に6割以上の観光客が集中していることから、年間を通しての安定した集客確保に課題があるほか、元々通過型の観光が主流であり、インバウンドの宿泊客は少ない傾向にある。

3 今後の展開方針

広大な土地を背景にした酪農や日本海とオホーツク海の海域の特性を活かした漁業を基幹産業とし、離島などの魅力ある観光資源に恵まれているという地域の特性を踏まえ、地域資源を活かした農村ツーリズムの推進により、雇用の創出や交流人口の拡大を図る。

【具体的展開】

- ①地域の特色を活かした体験型・滞在型観光の推進
・離島などの雄大な自然に恵まれた農・海産物を活かした食と観光の連携や体験型・滞在型観光の推進。
- ②教育旅行の受入継続
・豊かな地域資源を活かした教育旅行の受入れを継続し、地域における将来の就労・就学等につなげるとともに、受入れを通じた地域関係者の連携や交流人口の拡大を図る。